

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年11月20日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年11月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5・6号機 屋内消火栓設備の点検長期計画の一部作成誤りについて】 当社社員が自グループで管理する設備の点検長期計画を確認したところ、屋内消火栓設備の点検単位が「設備一式」となっており、機器毎の保全方式や保全内容を設定していなかったことを確認。 また、これにより2012年に設置した消火ポンプが点検周期(5年)を超過していたことも確認。 当該消火ポンプについては、1回/月の試運転では異常がなかったことより、機能上の問題はないと判断。 今後、原因と再発防止対策を検討する。</p>	G II	11月16日